

学芸員の業務を体験

静岡文化 上原美術館で実習

下田

下田市の上原美術館人が参加し、展示品の取り扱い方法などを学んで

17日の実習では、絵

大(浜松市中区)の学生らの現地実習が行われている。実際に業務を体験するなど、19日まで仕事への理解を深める。

同館によると、学芸員の国家資格取得には5日以上の実務実習が必要。同館は昨年と同大生を受け入れていて、同大の6人と文星芸術大(栃木県)の1

土森さんの指導を受ける学生＝下田市の上原美術館



画の貸し出し時に傷み具合などを記録する書類の作成を体験した。

所蔵品のモネの「薔ぶき屋根の家」を実際に使用し、主任学芸員

の土森智典さん(45)から指導を受けた。

静岡文化芸術大文化政策学部4年の溝口

のどかさん(21)は「学芸員にとって、作家の家族や来館者の方々と信頼関係を築くことがとても重要だとよく分かった」と目を輝かせた。

学生たちは絵画展を模した「模擬展示」などにも取り組む。

(下田支局・伊藤龍太)